

記念だより

医療法人社団慈誠会
慈誠会記念病院
〒175-0045
東京都板橋区西台三丁目11-3
電話：(03) 5920-1801
FAX：(03) 5920-1805
URL：https://jiseikaikinen-hp.jp



新年のごあいさつ

慈誠会記念病院・介護医療院
院長 安藤 稔

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

令和6年には、元旦早々から能登半島大地震が発生し、9月には台風、豪雨などの天災も重なるなど国民の生命は未曾有の危機にさらされ、心身は大きなダメージを受けました。また、大局観とリーダーシップを欠く首相が相次いでおり、日本の経済力と外交力の凋落が危惧される不安の多い一年でした。

しかし、ここ一年で記念病院の経営には、再生の光が差し始めました。2024年度年報をご覧ください。2023年度の病床移譲により大きく落ち込んだ病床稼働率は、1月の介護医療院開設後、数か月のインキュベーション(孵化)期間を経て5月以降見事に復活のステージに昇りました。介護医療院の活性化で弾みがつき医療、透析入院件数も順調に増加し、現在までほぼ満床に近い状態が持続しています。これら記念病院ブランド(介護医療院と透析療養病床)が地域に一層浸透すれば、経常利益の安定した黒字化も近々に可能になると思います。これも一重に職員皆様方のご尽力のおかげです。

令和7年の干支は「巳年(へび年)」です。「へび」は病院関係者にとっては、生命力と権威を示す頼もしい医のシンボルです。私が30数年前に留学していたカロリンスカ研究所(スウェーデンのストックホルム市にあるノーベル医学・生理学賞を決定する医療機関)の恩師が来日した際にプレゼントしてくれた創設200年の記念メダル(写真)の中央には「ギリシア神話の医神アスクレピオスが持った杖」(一匹のへびが巻きついた杖)が描かれています。へびは傷ついても脱皮を繰り返して新たな活力を得ることから欧州では病の治癒と生命再生の象徴とされています。

巳年にあやかり本年が我が国と記念病院再生の年になることを祈念致します。また、職員皆様が人生における種々のストレスに出会っても、決してそれらに押しつぶされることなく、へびのように柔軟な逞しさをもってそれらを乗り越え、一層飛躍できる年になることを心より祈念申し上げます。



理念

常に「慈愛」の心を持って、「誠実」に医療・看護・介護のサービス(奉仕)を行う

基本方針

- ① 生命の尊厳、人権の尊重
- ② 信頼と誇りを基盤にした診療
- ③ 穏やかで安心できる院内環境
- ④ 医療、介護、看護の継続的な質改善
- ⑤ 安定した経営基盤の構築

抗原検査の自己採取方法:感染症の季節がやってきました。今シーズンは、インフルエンザに加え、COVID-19オミクロン株変異株(XEC)が流行すると予測されています。体調不良時に備えて、ご自宅にCOVID-19抗原検査キットやアルコール消毒液(70%以上のもの)を常備しておきましょう。抗原検査は正しい検体採取が必須です。発熱・咳・のどの痛みなどがある場合は、右図を参考に自己採取を行い、抗原検査を実施してください。また、検査キットには使用期限がありますので、使用前に確認をしましょう。

臨床検査科 主幹補 星真梨

※家庭内に感染者がいる場合の対策※

- ① 部屋を分けましょう。
(分けられない場合は、感染者と2m以上の距離を保ちましょう。)
- ② マスクをつけましょう。
(マスクを外した後は手洗いもしくはアルコール消毒をしましょう。)
- ③ 換気をしましょう。
(1時間おきに5~10分間、家全体の換気をしましょう。)
- ④ こまめに手洗い、もしくはアルコール消毒をしましょう。
- ⑤ 汚れた食器や衣類は早めに洗剤で洗い、よく乾燥させましょう。
- ⑥ 共有部分を消毒しましょう。
(1日1~2回、手がよく触れる場所をアルコール消毒液で拭きましょう。)
- ⑦ 鼻をかんだティッシュなどのゴミは、ビニールに入れ密閉して捨てましょう。

抗原検査の自己採取方法

● 鼻腔ぬぐい液



- 綿棒を鼻の穴から2cm程度入れます。
(鼻毛の生えている部分より奥まで!)
- 綿棒を5回転させ、5秒静置します。
- 反対の鼻の穴も同じように採取します。

介護医療院クリスマス会について

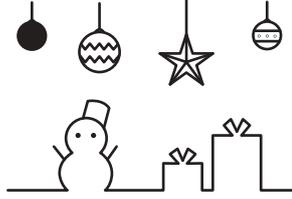
昨年12月25日、介護医療院ではクリスマス会を開催いたしました。皆で365歩のマーチを手足を動かしながらの合唱し、クリスマスの行事食を楽しみました。介護医療院のエレベーターホールには職員が飾り付けたクリスマスツリー、壁には入所者が折り紙で作成したツリーを飾りました。入所者様には職員からの手作りのクリスマスカードとプレゼントをお渡ししました。1年で一番わくわくする行事のクリスマス、職員も幼心に返り飾り付け、入所者様との歌を楽しみました。



クリスマスツリー



365歩のマーチ合唱



手作りのカードとプレゼント



食堂の飾りつけ



行事食



ボランティアの作品

● 外来担当表 ●

診療時間 午前9:00~12:30 午後1:30~5:00

診療科	区分	月	火	水	木	金	土
一般内科 (腎・循)	午前	難波研一 (内・循)	石田由依子	安藤 稔 (内・腎)	濱野慶朋 (内・腎)	難波研一 (内・循)	東郷久子 非常勤医
	午後	石田由依子	難波研一 (内・循)	安藤 稔 (内・腎) (~16:00)	濱野慶朋 (内・腎)	石田由依子	東郷久子 非常勤医

特別医療担当医表

皮膚科	午前				川津はるか (第2・4)(9:30~)		
	午後	東京女子医大 (第1・3・5)(~15:30)					
認知症外来 もの忘れ外来	午前		下濱 俊 第1・2				
眼科 (14:30~)	午後					西恭代 (慶應大)	
整形外科 (~12:00)	午前					作田智彦	
泌尿器科	午後			鈴木伸生 第1・3・5			

※受付は、診療時間終了の30分前で終了いたします。

お問合せ先

☎ 電話番号

03-5920-1801

📧 E-mail

jsk-kinen-shp@star.ocn.ne.jp

編集後記

昨年7月院長が「お祖父ちゃん」になりました。「初孫は笑顔が可愛くてね。癒されるよ。夢と希望に満ちたお宝だね。」(院長談)とのこと。当院の職員にもたくさん新しい生命が誕生し、男性職員も含め育児休業取得100%です。素晴らしい職場環境! 自慢の職場です。本年も夢と希望に満ちた1年でありますようにお祈りいたします。
(事務局K.H.)

